

35年目の椿台レディース

椿台カントリークラブの女性プレーヤーのグループ「椿台レディース」が結成から35年目を迎えた。シーズン中は月1回の親睦コンペを開催している。これまで250回近い数字を積み上げたことになる。本当に息の長い活動である▼結成は1991年（平成3年）。当時の出来事を振り返ると、世界的には湾岸戦争が勃発したほか、ソ連が崩壊した。国内では雲仙普賢岳で火砕流が発生。県内では秋田自動車道の横手―秋田南間が開通し、台風19号が農業などに大きな爪痕を残した▼「ツバキ」の花言葉は「謙虚な美德」「至上の愛らしさ」「理想の愛」「気取らない優雅さ」―。彼女たちのプレースタイル、活動にまさにぴったりの言葉であろう▼現在は30人が所属している。4月に今シーズン1回目のコンペが開催された。メンバーは約5か月振りの再会となったが、久しぶりにもかかわらず、和気あいあいとした雰囲気の中でラウンド。表彰式も女性らしい華やかさに包まれていた▼結成当初から幹事役を務める渡邊あや子さんは「会員は椿台の女性メンバーとして誇りを持って活動してきました。途中で8人ほどになった時もありましたが、ここ数年で会員が増えてきたことは喜ばしいことです」と話す。会員は随時募集しており、「活動に興味のある方は気軽に声をかけてほしいです」と呼び掛けている▼秋には結成35年の記念コンペを企画している。きっと素晴らしいコンペとなるに違いない。ただ35年はあくまでも通過点。活動は40年、50年と続くはずである。椿台にとっても力強い応援団となっている「椿台レディース」。これからも美しく品格あるプレーで椿台を盛り上げていきたい。（2025・05・09）